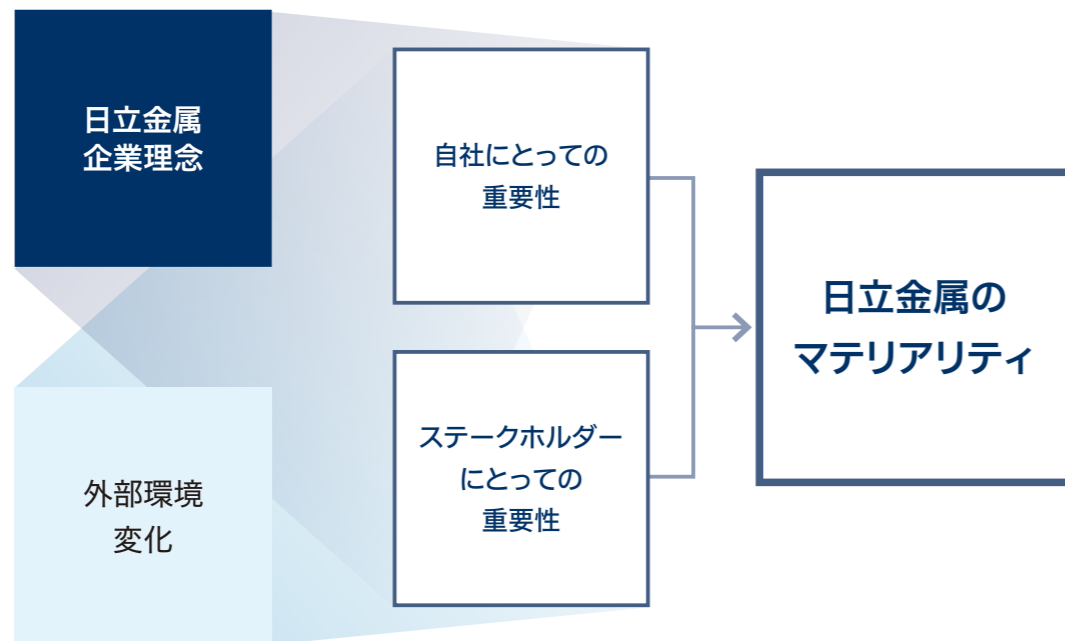


日立金属は、社会や環境の持続可能性(サステナビリティ)に資する事業活動を推進することが事業存続の基盤であり、かつ当社の成長にとって重要な事業機会であると考えております。

当社では、従来からESG課題を強く意識した事業活動を行ってまいりましたが、今回、この取り組みを一層加速させていくために、当社が注力すべきマテリアリティ(重要課題)を特定するとともに、各マテリアリティに関連する施策や重要管理指標を整理しました。また、各マテリアリティに関連するSDGsのゴールも示しました。

マテリアリティ特定の方



マテリアリティ特定のプロセス

- 1 社会課題の抽出** ESGに関連する複数の国際基準を参考にしながら社会課題を抽出
- 2 自社にとっての重要性を評価** 抽出した社会課題に対し、企業理念や外部環境変化を念頭に、全執行役および各事業責任者が日立金属事業における重要性を評価
- 3 ステークホルダーにとっての重要性を評価** さらに、当社が事業を展開する業界のエキスパートとの議論を通じ、ステークホルダー(お客様、お取引先等)視点で各課題の重要性を評価
- 4 重要課題の抽出** 評価の結果、ステークホルダー・日立金属の両者にとって特に重要度の高い社会課題を抽出
- 5 マテリアリティの特定** 全執行役および各事業責任者で議論を重ね、経営会議の場で最終審議を行い、マテリアリティを特定

日立金属のマテリアリティ一覧

特定されたマテリアリティは、6つのカテゴリーに分類しています。全てのマテリアリティは、当社Value[至誠]に基づき実践されるとともに、各々Value[蘇則彊]やVision[持続可能な社会を支える高機能材料会社]の具体的な経営施策と位置づけられています。さらに、全てのマテリアリティに対する取り組みを継続的に改善し深化することで、当社Mission[質の量産]を具現化します。

マテリアリティ	内容	関連する外部環境変化(機会とリスク)	関連するSDGs
環境 Environment	脱炭素社会 実現への貢献	機会 気候変動の深刻化に伴う顧客・サプライヤー・政府等のカーボンニュートラル推進機運の高まり等 リスク 温室効果ガス排出に関する規制の強化、エネルギー需要増・地政学リスクによるクリーンエネルギー価格の上昇等	7 エネルギーをいかに効率的に 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
	省資源・ リサイクル・ 環境親和型 製品の拡大	機会 顧客業界での環境取り組み推進による環境配慮型製品市場の拡大、廃棄物削減・リサイクルの推進機運の高まり、新素材技術の発展等 リスク リサイクル資源需要増、レアメタルの獲得競争、地政学リスク等による資源価格の高騰・調達困難等	12 つくも責め つかう責任 13 気候変動に 対応する社会
社会 Social	安全と健康を すべてに 優先させる	機会 「安全と健康はすべてに優先する」という行動原則を徹底し、社員とその家族のみならず、自社と関わる地域社会、取引先を含めたステークホルダーの心身を守ることを最優先に行動する リスク 危険業務のロボットへの代替技術発展等 人材獲得競争の激化による後継者不足、感染症の流行、自然災害の発生等	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も
	多様な個を 変革と成長の 推進力にする	機会 当社Value[蘇則彊]の下、社員一人ひとりをお互いに尊重し、それぞれがやりがい・信頼感・愛着を持って働くことができる職場づくりに努めることで、共同して成果を出すチームを実現する リスク 人材獲得競争の激化による人材不足等	8 働きがいも 経済成長も
ガバナンス Governance	品質を ストロング ポイントにする	機会 お客様に高い品質を安定してご提供するために、品質保証問題の再発防止策を徹底的に実行し、品質を他社と差別化された当社グループの強みとする リスク —	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
	外部環境変化を 先取りする ビジネスモデル・ プロセス進化	機会 顧客からの外部環境変化への強靭性に対する要請増大(安定供給等)、関連技術の発展(新素材、研究開発技術等)等 リスク 地政学リスクの増大、感染症の流行、自然災害の発生等	17 パートナーシップで 目標を達成しよう